



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第98号 2020年7月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

草木も農作物もすくすく育っています



小麦刈り

外出自粛のさなか、コアメンバーだけで粛々と続けた谷戸保全作業でしたが、同時期に重なる田植えと麦刈りも無事にこなし、いよいよ盛夏に向かっていきます。お待たせしました。7月からは多くの方々のご参加を期待しています。

お知らせ & 体験学習

山崎の夏まつり

今年は残念ながら神輿担ぎができないので、役員だけの祝詞の行事を7月12日に八雲神社で行うことになりました。

第12回総会6/7(日)

会員の皆様に、委任または議決権行使のご協力をいただき、少人数にて開催することができました。

体験学習について

教育支援教室ひだまり、深沢小学校5年生は、子どもたちの来訪が予定されています。スタッフと教員で作業を続けて準備をしています。

深沢小学校、山崎小学校に苗を提供しました。学校で谷戸の稲が育てられています。新たにフリースクール largo の活動が始まりました。



シモツケ

自然だより

～ アゲハチョウと散策路の植物 ～

夏休みが始まる頃、大きなアゲハチョウが目立ちます。谷戸では、黄色いアゲハチョウが2種類（ナミアゲハ、キアゲハ）、黒いアゲハチョウが6種類（クロアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、アオスジアゲハ、カラスアゲハ）いて、市内のアゲハチョウの大部分が見られます。チョウが生息するには、幼虫（イモムシ）が食べる植物、成虫（チョウ）の食料になる花の蜜がたくさんあることが大事です。真夏は花が少ないので、チョウが特定の植物に集中しているように見えます。アゲハチョウの仲間にはヤブガラシ（ツル草）、クサギ（よい香りの白い花が咲く木）の花が特に好まれるようです。ある研究では夏のアゲハチョウの数は、クサギの本数に左右されると報告されていました。真夏はチョウたちが花の蜜に不自由しているのかもしれませんが。ところが、ヤブガラシもクサギも里山の手入れでは真っ先に切られてしまいがちです。ヤブガラシが育ちすぎると、ほかの植物を枯らすほど伸びたり、クサギが大きくなると通行の邪魔になったり、日陰を作ってしまう。里山の保全のために放任はできませんが、チョウなど昆虫のために、ある程度残すことはできないでしょうか。工夫をすればそれは可能だと思います。例えば、散策路沿いは刈り込むことが必要ですが、散策路の斜面の上の方（数年に一度木障切りをしている部分）や、広場や土手の片隅なら、ヤブガラシもクサギも残せそうです。山崎の谷戸で数年前、農家風休憩舎の周辺に数本のクサギを意図的に残したところ、アゲハチョウの仲間がたくさんやってくるようになりました。里山の作業に、生きものに目を向けるゆとりを加えることで、谷戸がもっと楽しくなります。

●谷戸の様子

前の号でお伝えした、ゼフィルス（里山の貴重なチョウ）の一種、ウラナミアカシジミを今年も確認できました。5月末にゲンジボタルが光り始めると同時に、田んぼのカエルがシュレーゲルアオガエルの鳴き声から、アマガエルの鳴き声に入れ替わりました。田植え後の稲株に産卵することでしょう。近年、移入種（外部から持ち込まれた生きもの）のモリアオガエルが増えてきており、ホタル観察で夜歩くと鳴き声が聞こえます。移入種と言えば、中国産のガビチョウが増えていて、うるさいほど鳴くようになりました。幸い、ガビチョウの影響を受けると言われていたウグイスは余り減っていないようです。ホトトギスも鳴いています。今年は春から10日ほど早めに季節が進んでいますが、山崎の谷戸でもヘイケボタルを6月6日に見つけて驚きました。例年より半月ほど早いペースです。

谷戸の生きもの

～ アゲハモドキ 本当は誰に^{ぎたい}擬態しているの？ ～ アゲハチョウに擬態した“ガ”にようやく出会えた。降り出しそうな梅雨空だったが、もう一か所気になる湿地を見てから帰ることにして正解だった。昆虫を探していると“努力は裏切らない”といつも思う。体の中に毒を持ち捕食者に襲われにくいジャコウアゲハに擬態しているといわれる。腹部に紅斑があるところはそっくりだが、こうしてとまっているとむしろクロアゲハに似ている。またジャコウアゲハがいない東北地方にもアゲハモドキがいるのもおかしいよね。サイズは翅を広げて6cm程度で本家と比べてだいぶ小さい。飛び方も敏捷ではなく、ゆっくりとしている。幼虫の食草は谷戸に多いミズキやクマノミズキなのでもっと見てもよさそうだが。



谷戸往来

（たのくろまめお）



青空自主保育の保全活動 6/27(土)
(28(日)、7/5(日)も予定)

有志で湿地復元が行われました。草でおおわれた湿地が息を吹き返しました。

各班のお知らせ

田んぼ班

ホトトギスやオオヨシキリの声に励まされながら、密を避けて一列おきに田植(名付けてコロナ植え)をしました。横方向が不ぞろいで、田の草取りがちょっとやりづらくなりましたが、目をつぶりました。



 田植え

畑班

梅雨から夏にかけて蒸し暑い中で草取り、さといもの土寄せ、さつまいものつる返しと畑作業が続きます。温暖化による新顔の害虫ヨツモンカメノコハムシによるさつまいもの食害も心配です。

雑木林管理班

今年も草刈りの季節がやってきました。世の中はコロナ騒ぎの中、谷戸の草木、雑草は例年以上に元気いっぱいですが、そのエネルギーに圧倒されめよう、頑張って作業に取り組みます。

自然遊び班

じゃがいも掘りに9組の親子が参加。広い田の中段の畑で、子どもたちは土の中から出てくるじゃがいもはもちろん、虫たちにも興味津々。大人はスコップ、鍬を使って作業に汗を流しました。



 じゃがいも掘り

農芸班

(公財)鎌倉市公園協会のご好意により、梅林で梅の実採りを実施。largoの親子も参加。葉も実も緑で見つけにくく、竹竿でついていると首が痛くなります。慣れない作業でしたがたくさん収穫しました。

生態系保全班

調査をしながら、この木は大切、この草は除去が必要などフィールドでレクチャーを受けると、少し配慮するだけで生きものが暮らせる環境が増えることがわかります。わかると作業にも熱が入ります。

植物育成班

水路の脇にハルジョオンが咲きました。この場所は野草に支障がないため、生きものに残します。手を加えないと景観や生きものに好ましくない環境になるため、必要な植物だけ残し除去することが大切です。



 つる植物の除去作業

7月

4日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 5日(日) 田 田の草取り ☆
 雑 土手保全のための草刈り ♣
 8日(水) 畑 にんじんの種蒔き ☆
 12日(日) 田 田の草取り ♣
 雑 下草刈り ☆
 自 里山探検隊「谷戸しごと」
 15日(水) 農 梅干し作り(赤じそ仕込み) ♣
 18日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 19日(日) 田 田の草取り ♣
 畑 さといもの草取り・土寄せ ♣
 雑 土手の草刈り
 24日(金・祝) 田 田の草取り
 鎌倉レンジャーズ
 26日(日) 田 土手の草刈り ☆
 雑 雑木林の下草刈り ♣
 講座「谷戸の生きもの」 ☆

8月

2日(日) 田 畔の草刈り ♣
 畑 さつまいもの草取り・つる返し ☆
 雑 草刈りして水路整備
 講座「堆肥作り」 ☆
 4日(火) 自 里山探検隊「かかし作り」
 5日(水) 農 梅干し作り(天日干し) ♣
 9日(日) 田 畔の草刈り
 12日(水) 生 夏のチョウ生息地の保護作業 ♣
 16日(日) 雑 アズマネザサの刈り取り ♣ ☆
 23日(日) 田 ネット張り
 26日(水) 畑 大根畑の耕し
 長ねぎの土寄せ ♣
 生 草原の昆虫の保護作業 ♣
 30日(日) 雑 アズマネザサの除去 ♣

9月

2日(水) 農 麦わら細工(しおり作り) ♣
 6日(日) 田 すがい作り ☆
 畑 大根の種蒔き ♣
 雑 刈払い機で草刈り ♣ ☆
 講座「谷戸の植物観察」 ☆
 9日(水) 生 秋のチョウ生息地の保護作業 ♣
 12日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 13日(日) 田 はさ作り(田んぼ横) ☆
 14日(月) 畑 草取り・草刈り ☆
 20日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ♣
 23日(水) 畑 大根の間引き
 長ねぎの土寄せ ♣
 27日(日) 田 稲刈り準備 畔の草刈り
 雑 稲刈り前の草刈り ♣ ☆
 28日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ♣

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験

各班活動 : 9:30に農家風休憩舎集合(農:農芸班は、10時)
 夜の自然パトロール : 18:30山崎口ししいし前集合 20:30ごろまで

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

田:田んぼ班 畑:畑班 雑:雑木林管理班
 農:農芸班 自:自然遊び班 生:生態系保全班 植:植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報99号)は、2020年9月に発行予定

